

5. 本時の学習

- (1) 本時の目標 プレゼンテーション用ソフト（パワーポイント）の様々な機能を活用し，制作を進めることができる。 【生活の技能】

(2) 学習過程

過程・形態	学 習 活 動	時間	教師の指導・支援，評価	資料・I T V
つかむ (一斉)	1. 本時の学習課題を確かめる。 プレゼンテーション用ソフトで作品をつくろう。	3	○本時の学習の意欲づけになるように，制作が進んでいる小集団の作品や作成見本を提示する。	短冊 (学習課題)
さぐる (小集団)	2. 小集団で制作を進める。 ※制作のポイント ①文字の入力，挿入 ②図・表・グラフの挿入 ③写真の挿入 ④背景の設定 ⑤全体のバランス，見やすさ	20	○一人一人の構想をもとにした同質思考の小集団（2～3人）の編成であることを確かめる。 ○プレゼンテーション用ソフトの効果高めるために，机間支援を通して，制作のポイントを示す。 ○つまずきの見られる生徒や小集団には，机間支援を通して，操作の具体例を示しながらアドバイスする。	短冊 (制作のポイント)
(一斉)	3. 中間発表会を行う。	15	プレゼンテーション用ソフトを使用し，作品の制作を進めることができる。 ○お互いの作品を鑑賞することで，生徒全員の制作意欲を高めるとともに，新しいアイディアにも気づかせたい。 ○お互いの考えを高め合わせるために，感想や質問の時間を設定する。	画面転送 学習シート (相互評価)
まとめる (一斉)	4. アドバイスを聞く。 ◇I T V学習のポイント ①新たなテクニックの紹介 ②作成見本の紹介 ③質疑応答	10	○次時からの学習へのステップとするため，秋田県総合教育センター指導主事から，新たなテクニック，サンプルを紹介してもらったり，アドバイスをもらったりする。	T V 会議システム
(個)	5. 自己評価する。	2	○本時の学習を振り返り，次時の学習につなげる。 画面転送	自己評価カード